



## 公金収納における キャッシュレス決済について

政進会 宇田川 希

**問** コロナ禍では、貨幣や紙幣も新型コロナウイルス感染症の感染源の一つと考えられているため、非接触型のキャッシュレス決済を導入し、できる限り感染源を減らしていくべきと思います。また、市民の利便性向上という面からも併せて検討すべきと考えますが市の見解を伺います。

**答（市長）**：キャッシュレス決済の導入に向けたプロジェクトチームの設置を指示しており、今年度中の導入を目指し、現在、鋭意検討を進めています。

**問** プロジェクトチームでの検討状況について伺います。

**答（財務部長）**：市民の利用が多い窓口サービス課や市民税課などへ導入を検討しているところです。

**問** 体育館などの指定管理施設にもキャッシュレス決済を導入されれば、小銭を持たずに利用できと思いますが、市の見解を伺います。

**答（市民協働部長）**：現在、各指定管理者は、利用料金を現金で収納しています。キャッシュレス決済導入により、利便性が向上する一方で、決済手数料がかかり指定管理料への影響もあると認識しています。

**問** 今年度、いくつかの公共施設において指定管理者の選定があると思いますが、キャッシュレス決済導入も併せて検討しているか伺います。

**答（財務部長）**：指定管理候補者にキャッシュレス決済に対する考え方を確認していくことを検討しています。

### その他の質問

- ・ 新型コロナウイルス ワクチン接種事業について
- ・ 教育行政について
- ・ 災害廃棄物処理計画について



## 災害時に備えた災害協定の 現状と今後について

政進会 久保田 英賢

**問** 市では、市だけでは対応できない復旧復興を想定し、各企業や団体などと災害協定を締結していますが、協定のカテゴリーなどの現状を伺います。

**答（危機管理担当部長）**：他の市町とは相互応援協定を締結するとともに、民間企業などとも事業分野に応じて多岐にわたる災害協定を締結しています。その構成は、生活必需品、飲料水、応急復旧対策、医療救護活動、施設提供など15のカテゴリーで、102件の災害協定を締結しています。また、相互応援協定の締結先の合計は10市町です。

**問** 協定先との顔の見える関係づくりは重要なことで、市建設業協会からも、災害協定をより実効性のあるものとするために、市の担当窓口と話をしていきたいと聞いていますが、その取り組み状況を伺います。

**答（危機管理担当部長）**：先日、市建設業協会の役員とまちづくり部、市長室危機管理課の3者で打ち合わせを行いました。市としても、これを機に万が一の災害に備え、協定先と連携を密にしていくことは望ましいと考えています。

**答（まちづくり部長）**：打ち合わせは、緊急巡回をやるべきのエリア設定、災害の事象ごとの詳細な対応方策、情報発信、連絡体制の明確化などを整理する目的で行いました。打ち合わせでは、状況を熟知している現場の各担当が集まり、詳細な事項を詰めていくということになり、現在、その方向で動き出しています。

**問** 協定先との連携訓練を行っているか伺います。

**答（危機管理担当部長）**：昨年度はコロナ禍のため、市の全ての訓練を中止しましたが、例年は年間を通してさまざまな訓練を実施しています。このため、訓練の中に災害協定先との連携などを含めた内容を盛り込むなど、さまざまな手法を今後研究していきたいと考えています。

### その他の質問

- ・ 海老名市の農地の現状と今後のあり方について



## 生理用品の学校トイレ設置と 無償配布について

いちごの会 田中 ひろこ

**問** コロナ禍で、女性の5人に1人が金銭的な理由により生理用品の購入ができないという調査結果が報道され、日本や世界中の国々で生理用品の設置や無償配布が始まっています。海老名市も学校トイレへの設置や無償配布をぜひ進めていただきたいと思います。見解を伺います。

**答（教育長）**：今日、6月14日から市内各校のトイレに試行的に生理用品が設置されます。5月の初め頃から、トイレトーパーや除菌用品と同じようにあった方がいいと考え、実際に学校で管理する養護教諭の意見を聴いて、どんな形がいいか教育委員会として検討してきたものです。試行する中で、設置場所や使用量、補充方法なども検証して進めていきたいと思います。

**問** 防災備蓄物資の食品は賞味期限内に活用されていますが、生理用品を使用期限の範囲内で市民に活用してもらうことも、とても大事だと思います。備蓄している生理用品の取り扱いについて、現状と今後の考えをお聞きます。

**答（危機管理担当部長）**：生理用品は約1万枚備蓄していますが、使用期限が過ぎたものは、簡易トイレの水分の吸収材として使っていくために備蓄を続けています。

**問** 今後、生活支援課や社会福祉協議会の窓口で生理用品を無償配布する考えはありますか。

**答（保健福祉部長）**：これまで生活困窮の相談の中では、生理用品の提供依頼は特にありませんでしたが、生活に困窮している家庭にとっては、食料、ミルク、オムツなどの生活必需品と同様にニーズがあるものと考えています。

無償配布については、ローリングストックの他、物品の収集や配布の方法など、すでに実施している自治体から情報収集して検討していきたいと考えています。

### その他の質問

- ・ 困りごとを抱えた人へのアウトリーチ支援について